

近江鉄道沿線地域における通学利用促進に向け沿線高校生によるMM資料の検討

近畿運輸局交通企画課 滋賀県土木交通部県東部地域公共交通支援室
 近江鉄道株式会社 株式会社日本能率協会総合研究所(発表者:齋藤宣弘)

★取り組みのポイント

動機づけ資料(MM資料)に必要な観点の整理
 高校生がMM資料の改善点について議論
 地域主導によるMM資料の改善、配布

- A.沿線高校生及び保護者へのアンケート調査
- B.中学生向け学校説明会での資料配布
- C.沿線高校生を対象としたワークショップ
- D.近江鉄道によるMM資料の改善&沿線高校生に配布

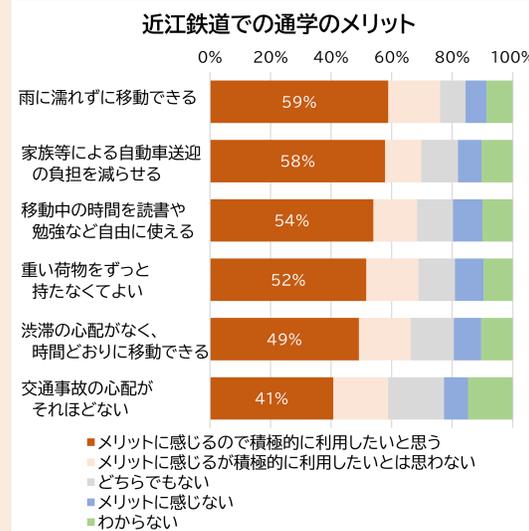
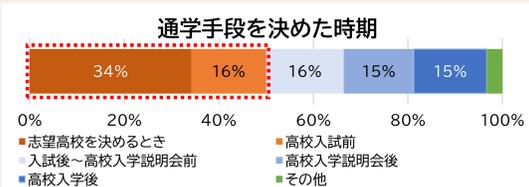
背景と目的

近江鉄道は滋賀県東部地域5市5町を結ぶ私鉄であり、地域の幹線交通であるが20年以上経営赤字が続いている。2019年11月に近江鉄道、滋賀県、沿線5市5町、学識者、利用者代表などにより法定協議会が発足し、上下分離方式に取り組むことを決定し、そのあり方の検討が進められてきた。
 近江鉄道の利用者は約7割が定期券利用者であり、半数が通学定期券の利用者である。こうした現状を踏まえて、利用促進に取り組むためには高校生の通学利用を拡大することが必要となる。そこで**通学利用の高校生を対象とした利用促進策を検討**した。

取り組みの実施と効果

A.沿線高校生及び保護者アンケート調査

半数が**入学説明会の前には通学手段を決定**
 高校生が感じる**通学のメリットの確認**
 通学方法の決定に**保護者の意向も影響**



方法:アンケート調査の実施
 期間:令和4年2月11日(金)～28日(土)
 対象:近江鉄道の利用が想定される21校の高校1年生及びその保護者
 回収:生徒3,947票、家族2,759票

B.中学生向け学校説明会で資料配布

動機づけ資料を作成し、**資料を配布**

中学生向け学校説明会で配布したMM資料

近江鉄道を使った通学を考えたとき、近江鉄道でみんなと楽しく通学しよう

高校への進学は不安がいっぱい? 近江鉄道の通学定期券を買おう!

方法:近江鉄道沿線の中学生向け学校説明会で動機づけ資料配布
 場所:八日市高等学校、彦根翔西館高等学校
 期間:令和3年11月6日(土)
 対象:学校説明会に参加した中学生

C.沿線高校生を対象としたワークショップ

高校生の**自らの体験や意見を後輩に伝えられ**、資料の改善を通じて**利用促進にも活用**
 地域の公共交通や将来の地域の姿について**考えるきっかけ**になった
 ワークショップでの**高校生の意見(一例)**

- “よかったところ・勉強になったところ”
 - ・定期券を持っていたら土休日には+100円で全線に乗ることができることを初めて知った
 - ・車の問題点がわかりやすい
 - ・オープンキャンパスで配布したことが良かった
- “わかりやすかったところ・改善が必要など”
 - ・文字が小さい・多い
 - ・感染症対策として何をやっているのかがわかりにくい
 - ・近江鉄道の情報が入ってこない
- “資料の改善案・方向性”
 - ・土休日+100円をもっと大きく
 - ・近江鉄道のキャラクター(駅長がちゃこん)の有効活用
 - ・感染症対策の状況を明確に
 - ・駅間の所要時間を書く

方法:中学生向け学校説明会で配布した情報提供資料について、掲載すべき情報やPRすべきポイント、資料の体裁・提示方法等についてGWを通じて議論、改善
 場所:八日市高校
 期間:令和3年12月19日(日)
 対象:近江鉄道沿線の7校の高校生1年生25名

D.近江鉄道によるMM資料の改善&沿線の中学生に配布

近江鉄道を使った通学、メリットを考えてみましょう

高校への進学は不安がいっぱい?

こんなにお得! 近江鉄道の通学定期券

指定期間・区間が毎日乗り放題

近江鉄道が
 高校生の
 意見を
 踏まえて
 を改善

結論

- ・高校生の公共交通の利用促進を図るには「**通学先の検討段階**」に、「**中学生や保護者に対して**」、「**公共交通での通学のメリット**」に関する情報提供が重要であることを確認できた。
- ・公共交通の通学利用の促進を図るための**高校生の生に意見が反映されたMM資料**が作成できた。
- ・ワークショップの開催を通じて、**生徒自らが地域の公共交通を取り巻く課題を知り、考え、後輩に伝えていくきっかけ**を作ることができた。
- ・**地域の公共交通の継続的な利用促進を図るためには、先輩から後輩に引き継いでいくこと、それを地域主体で続けていくことが重要と考える。**

今年度の状況:沿線高校の中学生向け学校説明会において、改善したMM資料を近江鉄道が配布